



三次トピックス

三次市から感謝状 ちやぐりん寄贈

JAひろしま三次地域は6月24日、三次市役所で食農教育雑誌「ちやぐりん」(家の光協会発行)の寄贈に対し、福岡誠志市長から感謝状を贈呈されました。「ちやぐりん」の寄贈事業は2005年度から毎年行なっており、2024年度は同JA管内の小学校4年生396人に12月号(11月配布分)から1年間、無償で配布しています。この事業により「ちやぐりん」を贈呈された子どもは延べ7,217人となり、多くの子ども達が「食」や「農」の大切さを身近に学んでいます。



稲作文化、鮮やかに再現 神杉大田植

三次市の神杉地区自治会連合会と神杉大田植実行委員会は6月9日、同市高杉町の水田で地域に古くから伝わる田植えを再現する催し「第19回神杉大田植」



▲田植え唄やはやしにあわせて田植えをする早乙女

を開き、地域住民や関係者など約300人が集まりました。サンバイ(田の神様)おろしの神事を行なった後、華やかな装飾の花牛3頭が水田17aを代かきし、地域住民らサゲ衆10人が太鼓を打ち鳴らす中、専用の装束に身を包んだ早乙女40人が田んぼ横一列に並び、田植え唄やはやしに合わせてもち米の苗を植えました。大田植には地元の三次市立神杉小学校の児童も参加し、地域の伝統に触れました。早乙女として参加したJAひろしま三次地域職員の中原梨沙さんは「多くの方に見ていただく中で地域の伝統である大田植えを再現することができ、良かったです」と話しました。



小学生へ農業体験 農青連三次地区本部

6月18日、JAひろしま青壮年連盟三次地区本部の盟友とみらさか小学校5年生の児童が田植え体験で交流しました。同校との農業体験は、同農青連の盟友で(株)ライスファーム藤原の代表取締役藤原博巳さんが14年前に地元農家から受け継ぎ行なっています。同日は6条植えの田植え機で実演を行なった後、実際に手作業で植え付け体験を行いました。参加した児童は「初めて田んぼに入った。おいしいお米が出来てほしい」と笑顔で話しました。



一支部一福祉活動の展開を たんぽぽの会総会

JAひろしま三次地域のボランティア組織「たんぽぽの会」は6月4日、J



▲新役員のみなさん

Aひろしま三次農協会館で総会を開き、会員、関係者ら約80人が参加しました。総会は活動計画など3議案を承認し、役員改選で新会長に二上眞理子さん(三次支部)を選任しました。今年度も行政、社会福祉協議会など関係機関と連携し、地域のニーズにあった高齢者の生きがい活動、助け合い活動を展開していきます。「たんぽぽの会」は1997年に組合員、女性部、地域住民が連携して発足。現在会員816人が一支部一福祉活動をスローガンに、管内17支部で福祉施設の草取り作業や手づくりプレゼントなど、地域に密着した福祉活動を行ない、様々な福祉活動を通じて、コミュニティづくりや高齢者福祉の活性化など、地域に確かな絆が生まれています。



▲藤原さん(右)に教わりながら田植えをする児童

営農情報

きらり女性部活動

水稲

刈り取り後の管理

刈り取りは籾の黄化を確認し、適期刈り取りを行ない良質米生産に努めましょう。(収穫適期の目安は2024年JA水稲栽培こよみをご確認ください。)

稲刈り後は、雑草対策や土づくりを行ない、次年度の作付けに備えましょう。

除草剤による雑草対策

塊茎で増えるクログワイやオモダカは、稲刈り後、再度雑草が伸長し草丈20cm以上になった状態で、緑色の茎葉部に除草剤散布を行ない、塊茎の形成を阻害させましょう。

Table with 4 columns: 除草剤, 適用場所, 10a当り使用量, 使用回数. Includes Roundup and Mactoprod.

土づくり

翌年の良質米生産に向けて赤枯れ症などを軽減するため、稲刈り後は稲ワラ腐熟促進剤などを散布しましょう。また、土づくり資材等の施用を行ない、地力向上を図りましょう。

野菜

たまねぎ

播種時期から定植時期の管理

- 本圃面積1aあたり、すじ播きで5m x 6m程度の苗床が必要。本圃面積1aあたりの定植本数の目安は2,000本程度です。

播種のポイント

- 各品種の播種時期を確認し、早播き、遅播きは避け、適期に播種しましょう。播種前日に苗床に十分かん水し、播種当日は、条間8cm x 10cm、播種間隔1cm程度で、すじ播きをしましょう。厚播きにならないように丁寧に播種し、覆土は1cm以下となるように薄く行ないましょう。乾燥防止のため、苗床表面に、もみ殻、くん炭などを敷くとい良いでしょう。

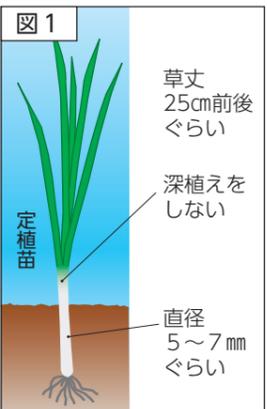
播種後の管理

- 播種後から出芽するまでは、晴天が続くようなら、毎日かん水を行ない、土壌水分を維持しましょう。

定植

- 出芽以降も、土壌表面が乾いてきたらかん水を行ないましょう。

- 定植苗は、育苗日数が55日前後で、草丈が25cm前後、茎の太さが5mm x 7mm程度、100本重量が370g x 500g程度の苗が理想です。(図1)とう立ちを防ぐため、生育過剰の苗や、大苗での定植は避けましょう。



定植のポイント

- 植える深さは2cm x 3cmとし、葉の分岐点より上に土をかけないようにしましょう。定植後は十分にかん水を行ないましょう。定植後5日間程度は乾燥すればかん水を行ない、活着を促しましょう。

【作型の目安】※品種や圃場条件によって異なります。

Table with 5 columns: 作型, 品種の例, 播種時期, 定植時期, 収穫時期. Rows include 早生, 中生, 中晩性・晩生.

※マツハ、ターボ、アトン、ネオアースはタキイ種苗の品種です。

苗床の施肥

Table with 4 columns: 時期, 肥料, 施肥量. Rows for 土づくり肥料 and 基肥.

・土づくり肥料・基肥の施用後は耕うんし、土となじませましょう。

【定植圃場の準備】 施肥の目安

Table with 4 columns: 時期, 肥料, 施肥量. Rows for 土づくり肥料 and 基肥.

・土づくり肥料施用後は耕うんして、土となじませておきましょう。・基肥施用後は耕うんし、畝幅100cm程度の畝立てを行ないましょう。

農業体験で楽しく交流 女性部三次地区本部フレッシュミズ部会



▲参加されたみなさん

女性部三次地区本部フレッシュミズ部会は部員間の絆づくりを目的に6月2日、部員や部員家族ら16人が参加し、農業体験の一環としてサツマイモ苗の定植作業を行ないました。参加者は、マルチに穴をあけ、サツマイモの苗100本を植え付けました。秋には収穫体験を計画しています。作業後は「はちみつレモンジュース」作りで交流を深めました。参加した子どもは「秋に焼き芋を食べるのが楽しみ」と話しました。

清河支部・石田さん優秀賞 JA広島県女性組織活動体験発表

JA広島県女性組織協議会は6月7日、広島市でJA女性組織活動体験発表会を開き、県内の女性部員9人がそれぞれの組織や地域の活性化に向けた活動について発表しました。女性部三次地区本部からは清河支部の石田佳都美さんが「いちばん小さな町は笑顔で大きく輝く！」と題した発表を行ない、優秀賞を受賞しました。石田さんは三次市の中でも高齢化が進む町の中で、地域を巻き込み、イベント参加等を通じ部員を増やしていき、女性部が地域の中心的存在になったエピソードを紹介されました。また、同日、川西支部が令和5年度の「女性部員一人ひと声かけ運動」で10人以上の増員に取り組み同協議会から表彰を受けました。



▲発表会へ参加されたみなさん

部員で協力し鳥獣被害対策 女性部川立支部

女性部川立支部は6月12日、島根県邑智郡美郷町で鳥獣被害対策の現地視察研修会を開き、女性部員やJA職員ら20人が参加しました。同町は鳥獣被害対策の先進的な取り組みで注目され、全国から多くの視察が訪れています。同女性部の地区内ではイノシシやシカ等による農作物への被害が相次いでおり、今年初めて鳥獣被害対策の視察研修を企画しました。



▲井上さん(左)から鳥獣被害対策を学ぶ参加者

研修会は獣害対策研究家の井上雅央さんを講師に招き、座学講習と現地実習を行ないました。講習会で井上さんは、イノシシやシカ等の生態や習性、鳥獣が住みにくい環境づくりについて説明し「鳥獣被害対策で最も重要なのは、畑の近くに鳥獣の隠れ家や餌場を作らないこと」と話しました。現地実習では、畑やその周辺の点検、効果的な柵の設置方法の研修が行なわれました。女性部員の三野文子さんは「研修で学んだことをすぐに実践し、部員、地域で協力し鳥獣による農作物の被害を止めたい」と意欲を見せました。

JA女性セミナー開講

女性部三次地区本部は6月6日、JAひろしま三次農協会館大ホールで2024年度JA女性セミナーの開講式を行ないました。同セミナーは、女性の資質向上と共に健康で明るく豊かな暮らしを築くことを目的に年6回の講座を開いており、今年度は42人が受講します。開講式の後に行なわれた第1回の講座では、フィットネススタジオFIT MEの福永優奈さんを講師に迎え「おうちでできる！からだすっきり簡単体操」と題して健康体操を行ないました。受講生は、「セミナーでみんなと楽しく学べてよかった。家庭でも健康体操を続けていきたい」と話しました。



▲健康体操を学ぶ参加者

▶ Information お知らせ

お知らせ

JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会より

＼抽選で20名様に／
三次産「ぶどう」1箱
 (2kg入り)
プレゼント!



※品種、生産者の指定はできません

応募期間 令和6年8月24日(土)～9月6日(金)※当日消印有効

応募方法 郵便ハガキ又は各支店窓口にあります応募用紙に、住所・氏名・電話番号を明記の上、ご応募ください。
 ※ご応募はお一人様1口までとさせていただきます。
 ご記入いただいた個人情報(住所・氏名・電話番号)は、本キャンペーンの抽選、賞品発送を目的に利用させていただきます。

応募宛先・応募用紙提出先

- 郵便ハガキ 〒729-6213 三次市廻神町3370番地
 JAひろしま三次地域営農経済センター 営農販売課
 JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会事務局キャンペーン係 宛
- 応募用紙 各支店窓口

賞品 三次産「ぶどう」2kg入り1箱……20名様(品種、生産者の指定はできません)

当選発表 厳選な抽選の上、ご当選者の発表は賞品の発送(9月中旬～10月上旬予定)をもってかえさせていただきます。

お問い合わせ先 事務局 JAひろしま三次地域営農経済センター 営農販売課 0824-66-3852

産地紹介

(JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会)とは?

JAひろしま三次地域管内の三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会の生産者で組織しています。

三次盆地の標高差と寒冷な気候を生かし7月の昼夜の温度差により着色が良く糖度も高くなるため、ぶどう栽培に適した環境となっています。

現在では約57haの面積で品種はピオーネ・シャインマスカット・安芸クイーン・ベリーAなどを栽培しています。



今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願いいたします。
 たくさんのおみなさま方のご応募お待ちしております!!

JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会
 (三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会)

農業情報
 番組の
 ご案内



㈱三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル
農業情報番組ガイド 11ch
 放送時間 7:00～7:15・12:00～12:15・19:40～19:55

放送日	内容	担当者
9月2日(月)～9月8日(日)	水稲刈り取り後の管理と 白ねぎの栽培管理について	朝日
9月16日(月)～9月22日(日)	秋まき野菜の栽培管理について	上田

9月のお知らせ
 カレンダー

9月28日(土)
 ふれあい活動